

2型糖尿病の血糖マネジメントにおける教育入院の患者アウトカムに関する研究

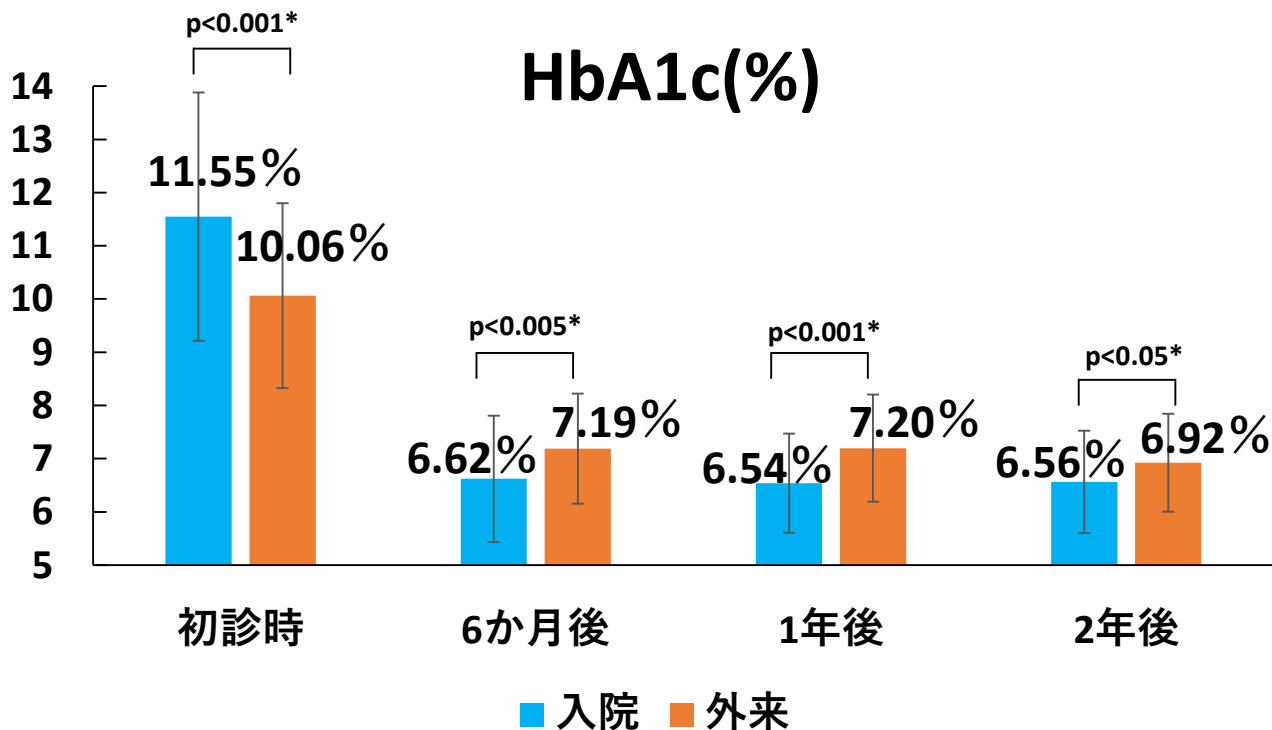
<概要>

当院において2型糖尿病で教育入院を受けた方と、外来通院のみで治療を受けた方のHbA1c値を2年間追跡しました。

<結果>

入院治療を受けた方のほうが、初診時はHbA1cが高い傾向にありましたが、6か月後には外来通院の方を下回るレベルまで改善し、両者の差は2年後も維持されていました。

※本データは第69回日本糖尿病学会学術集会（2026年）にて発表しました。
（倫理審査番号2024-04）



2022年11月～2023年10月までの間に当院を初診した2型糖尿病患者のうち、初診時のHbA1c 8.0%以上であった者を対象として後方視的に解析した。

入院治療群と外来治療群において、6、12、24ヶ月後のHbA1c値、体重変化、使用薬剤数を比較した。

（続木ら、第69回日本糖尿病学会年次学術集会にて発表）